

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スナック（経営者）	・不景気な話をあまり聞かなくなり、暗い顔の客が少なくなっている。客単価はあまり改善していないものの、来客数は伸びてきている。良い店と悪い店がはっきり分かれてきている。
		住宅販売会社（経営者）	・今まで動かなかった客が、計画や見積などの具体的な打ち合わせに移り、2、3か月後には契約、着工なる見込みである。
	やや良くなる	スーパー（店長）	・現在、1割以上伸びている売上、来客数は、この先も1年程度は伸びが期待できる。
		スーパー（統括）	・周辺の基幹産業であるIT関連、製造業、金型の受注量ともに増加しており、流通の需要もやや良くなる。
		コンビニ（店長）	・売場をよく見ると、あちこちで売れ筋商品の欠品があることが分かった。欠品を防ぎ、売上につなげる技術面での課題を克服すれば、季節的にもチャンスを活かせる時期なのでやや良くなる。
		家電量販店（店長）	・来客数がやや上向きになりつつあるので、単価の上昇、点数の増加は取り組み次第である。2、3か月後は良くなるというプラス思考で、業務にまい進している。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・携帯電話の新機種が発売され、ボーナス商戦も始まることから、やや良くなる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・以前と比べ、一部ではあるが高額商品も売れてきているので、今後は徐々に上向いてくる。
		一般レストラン（店長）	・既存のレストランの改装、並びに新規出店が目につくようになってきている。今後は競争が更に厳しくなり、景気も良くなっていく。
		通信会社（営業主任）	・ワールドカップの開幕がケーブルテレビの視聴材料となり、短期的ではあるが、成長するものと期待している。
		設計事務所（経営者）	・先行きが上向くのではないかとの期待感から、見積依頼、店舗建築等の相談が増加してきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・6～8月にはイベントや祭りが多く、来客数、販売量の増加に期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・専門店が多角化が難しく、取扱商品の販売量減少を他でカバーできない。量販店の出店、消費の低迷や単価の低下が命取りになりかねず、経営努力、経費節約にも限界があることから、閉店するかどうか、継続か決断の時期にきている。
		百貨店（売場主任）	・ファッション雑貨のトレンド品はベルトくらいしかなく、その他の普通の物を普通に売っている状況では、なかなか上昇しない。
		百貨店（販売促進担当）	・バーゲン品を買い求めていた客が、正規価格商品を買いたいようになってきている。以前より関連商品のまとめ買いも出始め、価格より質重視の傾向が強くみられる。
		百貨店（販売促進担当）	・6月以降、ギフトの早期受注の買取などで、多少購買行動は活発になるが、全体的な冷え込みは続く。
スーパー（経営者）		・来客数が少しずつ増加傾向にあるものの、客単価は依然として低迷しているため、全体の売上は変わらない。	
コンビニ（店長）		・何か新しい画期的な物がない限りは、変わらない。	
衣料品専門店（店長）		・3か月後も、依然としてTシャツなどの単価の安い物しか売れず、購入点数や来客数の増加もあまり望めない。	
乗用車販売店（従業員）		・メンテナンス売上は安定しているものの、高額の新車販売が低迷しており、低価格車については現状維持が精一杯である。	
乗用車販売店（営業担当）		・長年取引のある客の会社が倒産しており、自動車の販売はあまり期待できないが、車検、整備に期待したい。	
住関連専門店（店長）		・倒産する会社が増え、来客数があるものの、あまり点数を買わない傾向は変わらない。	
観光型ホテル（スタッフ）		・ビジネス客の予約が減少しており、厳しい状況は変わらない。	
旅行代理店（従業員）		・個人客の買い控え、目的買いが一段と強くなっていることから、今後も価格重視の競争が続く。学校週5日制に伴う、個人客の増加を期待したい。	
タクシー運転手		・利用客が、お年寄りか、仕事で外から来る人などに限られてきており、この何年か夜の仕事がない。この状況は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（社員）	・普及率が6割に近い携帯電話市場は、成長率の鈍化が著しいが、映像やデータを送受信する非音声分野の開拓で成長の余地もある。
		観光名所（職員）	・来客数はあっても、節約型の客が多く、レストラン、ホテル等の利用者は少ない。
		遊園地（職員）	・フリーパスの購入割合は増加傾向にあるものの、売店単価が低下する等、全体としての単価の大きな上昇は期待できない。
		ゴルフ場（副支配人）	・雇用環境が不安定なために、平日にレジャーを楽しむ人が少なくなり、平日の集客に苦慮している。この状況は変わらない。
		競輪場（職員）	・今後2、3か月の間に、入場者、売上額が急激に増加するということは難しい。
		設計事務所（所長）	・仕事は今のところ落ちついて変わらないが、計画中の物件が進めば2、3か月は安定するので、期待したい。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・学校週5日制により、学校関係の行事が取り止めになり、今まで毎年売れていたキャンプ用品等の商品が動かなくなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	・ボーナスシーズンで幾分良くなるものの、来客数が少なく、消費行動がないという状況は変わらず、良くなる要素はない。
		一般レストラン（経営者）	・駅周辺に居酒屋チェーン、大手物販店等が出店し、既存の商店街とは全く違った商店街が形成され、若者等が流れてしまっている。既存の商店街を歩いている客はまばらで、今後、売上の減少も目にみえており、不安である。
		一般レストラン（業務担当）	・前年と比べ、3か月先までの宴会、コンベンションの予約数が2割、1件当たりの客数が15～20%減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・第1～第2四半期の途中までの宿泊実績は、対前年比2千名以上の減少、宴会、会議等も同様の状況であり、今後もやや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・法人客が激減しているが、個人的に1年に何度か旅行しようという雰囲気にはなりつつある。大口の客がないのが、大きな痛手になっており、すぐには上向かない。
		ゴルフ場（支配人）	・梅雨のせいもあり、予約数が曜日に関わらず激減している。現在、誘客のDM、割引等で対応している。
	悪くなる	設計事務所（所長）	・3か月後の受注の目安が立っていない。
		住宅販売会社（経営者）	・公示価格、路線価、固定資産評価、全てのデータが下落しており、単価、販売量ともに悪くなる傾向はぬぐえない。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		輸送業（営業担当）	・取引先が繁忙期を迎え、仕事量が増加する。
		金融業（融資担当）	・客の間に、今の商品価格がほぼ底値であるという考えがあり、今後の値上げを懸念して、数か月の間に買っておこうという動きにより消費が伸びる。
	変わらない	金融業（経営企画担当）	・製造業における在庫調整が進み、一部で受注増加による残業が出てきている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・悪い部分として海外シフトがあり、良い部分としては半導体部門の上向きがあるが、全体としては横ばいである。
		金属製品製造業（経営者）	・鋼材メーカーが、価格の値上げと在庫圧縮を表明し、各業界と価格を交渉中である。今後の状況、その結果次第である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が低い水準で安定してしまっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2002年度の設備投資などをみると、底を打った感じはするが、低迷状態は依然として続く。
		精密機械器具製造業（経営者）	・景気は底を打ったと言われているが、現実には厳しい状態が続いている。特に製造業においては、QCD（品質、コスト、納期）が厳しく、回復の実感はない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・4月にコストを3～5%削減しており、その影響がある。車の販売価格が是正されることから、受注も今一つ変わらない。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資を含めた設備投資には、依然として新規投資が少なく、更新投資が多い。予算も絞り込まれていることから、厳しい状況は当面続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・新規のスポットコマースの引き合いが出てきているが、長期のコマースの受注が少なく、伸びは見込めない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・官公庁の発注が早期に行われたい限りは、良くならない。
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者） 建設業（総務担当）	・いくつかの取引先から、今後更に仕事量が減少する計画があると聞いており、悪くなる。 ・受注単価は、2割減が当たり前になってきており、施工方法や作業効率の面で、更なる努力が強いられている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・鋼材関係で生産調整がかなり進展しているが、現状のままの人数で少ない受注に対応している。プラスチック材関係も、平均的な在庫調整で稼働しているが、注文が増加するこの時期でも期待が持てない状況である。 ・3か月先までの予測しか立てられない状況の中で、人数は抑えて、コストも削減するという状況の中で作業をしており、非常に厳しい。
		人材派遣会社（経営者）	・大手企業の仕事量が少なく、派遣の契約期間が短くなっている。
		人材派遣会社（経営者）	・一部IT関連企業に求人の動きもあるが、製造業全般、公共事業が抑制されている土木建築、住宅産業などが活発にならない限り、求人情勢に変化はない。派遣業界も、営業、一般事務の求人が増加する見込みがない現状では、変わらない。
		職業安定所（職員）	・管内の大手電機メーカー及びグループ企業からの離職者に加え、大手電線メーカー及びグループ企業のリストラ策による離職者が発生してきている。今後も、離職者の増加が見込まれ、雇言情勢の悪化は止まらない。
		職業安定所（職員）	・引き続き、小規模事業所の人員整理による求職者の増加が見込まれ、求人数が多少増加しても、雇用状況の改善は見込めない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・今春卒業生への求人問い合わせの時期であるが、規模、業種間格差はあるものの、厳しい状況は変わらない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・仕事の発注量の見通しが減少傾向にある。
	悪くなる	-	-